

新春特集

**2021.1
No. 155**

あきた建築士会ニュース



湯沢市 四同舎（旧湯沢酒造会館）

一般社団法人 秋田県建築士会

湯沢市 四同舎（旧湯沢酒造会館）

湯沢雄勝建築士会理事
ヘリテージマネージャー 清水川 隆



四同舎は、1961年（昭和36年）に迎える「第16回国民体育大会・秋田国体」にあたり、湯沢に集会施設がなかったという背景から計画された建築物です。

酒の国秋田、また東北の灘とまで言われた当時の湯沢は、酒造業が代表する産業であり経済的にも潤っていた時期でした。そのような時代背景から酒造業各社が出資し、株式会社酒造会館を設立、集会施設として湯沢酒造会館（現四同舎）の建設に向かうことになりました。

設計者の選定については、当時ではまだめづらしかったと思われるコンペ方式が採用され、多くのコンペ案は近代建築を提案しカラーパースで仕上げてあったのに対し、白井の応募案は、白黒パースでコンパクトでありながら力強い迫力のある印象を受けるものでした。結果、白井晟一案が採用されました。

その数年前には、白井晟一の代表的エッセイ「縄文なるもの」が発表され、建築界では建築家丹下健三氏との論争が大変な話題となった時期でした。

四同舎の外観は、RCの柱を黒塗りの鋼板で包み力強い柱型にみせ、壁は当時の湯沢の工場で造られた柔らかいテクスチャーの白いタイルとの組み合わせで表現されています。

特徴であるグリル付きの開口部は1、2階を通すようにスリット状に、そして玄関廻りの開口は大きな一枚のガラス面で開放的に設計されています。

そして冬期の積雪に配慮した量感のある置き屋根で構成され、重厚で閉ざされた印象の北側立面に対し、南面の開口は大きく、特に2階会議室のバルコニーに面する開口は陽の光を充分に享受することができます。

(P41 へ続く)

目 次

新年を迎えて	新年のご挨拶……………一般社団法人秋田県建築士会会長 淡 路 孝 次… 2
	年頭のごあいさつ……………秋田県建設部長 小 林 賢太郎… 3
	年頭のごあいさつ……………秋田県建設部建築住宅課長 中 野 賢 俊… 4
事 業 報 告	「Web 会議」活用のための基礎講習会 開催報告 …………… 5
投 稿 だ よ り	「横手の雪まつり」……………11
会 務 報 告	……………12
地域会だより	……………14
誌 上 年 賀	……………17
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ……………34
事務局だより	……………34
定 期 講 習 会	忘れてませんか!建築士定期講習のお知らせ ……………39
編 集 後 記	……………40

新年のご挨拶



一般社団法人 秋田県建築士会会長 淡路 孝次

新年明けましておめでとうございます。

令和2年度はコロナ禍に始まりコロナ禍で終わり、悪いことを上げると切りのない社会情勢でした。

その中であえてプラス思考で考えてみると、私が初めて経験したWEB会議があり、仕事をするのに出社が必然とならないテレワークという社会があることを知りました。

また、秋田県初の総理の誕生。その総理がデジタル社会の推進、カーボンニュートラル社会実現、グリーン産業の推進などを掲げておられます。その結果、これまで長い間押印文化であった社会システムの変革、また日本の産業をリードしてきた自動車の化石燃料車からの脱却等々、いずれも日本の産業構造や社会構造の大変革無くしては成しえないことと思われまします。

一方このような社会において我々建築業界はどうだったのでしょうか。一部ではコロナ感染者が生じ、現場でそのことに対応する必要が生じたとか、あるいは営業マンが営業に伺うことができなくなったことがあったことを聞き及んでいますが、私の知る限り幸いにも秋田県内ではそれほど大きな影響はなかったように見受けられます。今後もこの様であればと願わずにはられません。

令和3年度は、オリンピック開催の年です。開催の可否など一部で論じられておりますが、無責任なことを承知でお話しさせていただくと、是非開催してほしいと思っています。4年に一度のアスリートの躍動は沈み切った社会に希望やエネルギーを与えてくれると思うからです。

現在3密を回避することが世界中で求められていますが、人間は社会的動物であり、その動物の本質では3密を求めて活動していると思っています。それ故、コロナに対応すべく英知を結集し、オリンピッ

クを開催することこそが沈んだ社会に光を指すことになると思います。

令和3年度に開催予定の全国大会開催地の広島県建築士会では、全国の士会にアンケート調査を実施し、ウイズコロナ社会における全国大会の開催方法について検討されております。本当にご苦労なことでありまします。

大会開催の大きな要素として挙げられるのは、ワクチン効果であります。世界中で開発競争が繰り広げられ、接種も始まっています。日本でも独自に開発中であるとされておりますが、そのワクチン接種によってコロナが沈静化に向かうことを期待したいと思います。

秋田大会は、広島大会開催内容を参考としながら令和4年度に開催されることになりましたが、青年委員、女性委員が素晴らしい秋田大会とすべく日々尽力しております。その努力が報われることを願わずにはられません。

私は全国秋田大会を一過性のイベントに終わらせるのではなく、秋田県建築士会の存在を広く県民にアピールすると共に、地域行政と連携を図る大きな機会ととらえております。それ故、秋田大会が成功か否かは、全国から参集いただく建築士の仲間が秋田のファンとなって秋田を全国にアピールしてくれること、さらには地域貢献を標榜する建築士会として県民や地域行政とのパイプがより太くなることをもって秋田大会の成功としたいと思います。このことを会員一同が共通の認識とし事業推進したいと考えております。

秋田大会開催年は建築士会創立70周年の年になります。連合会も同様です。令和3年度が次の時代に繋がる年となることを会員と共に祈念し、新年に当たっての挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



秋田県建設部長 小 林 賢太郎

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県建設行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、県内の高速道路においては、ミッシングリンク区間の開通見通しが公表されたことに加え、秋田自動車道「湯田 IC・横手 IC」間の約 8 km の 4 車線化が 2 年連続で事業採択となったほか、ダブルネットワークの機能が期待される国道 105 号「大曲鷹巣道路」の大覚野峠地区では、国による権限代行実施の検討を行うための調査に着手したところであり、さらに昨年 12 月には日沿道の一部として県が整備を進めてきた「鷹巣西道路」が開通するなど、広域道路ネットワークの形成にむけて大きく前進した年でありました。

また、県内への経済効果が期待される洋上風力発電に関しては、再エネ海域利用法に基づく促進区域が県内 3 区域で指定され、事業者選定に係わる公募が開始されるとともに、全国で初めて基地港湾に位置づけられた秋田、能代の両港では、建設・組立の拠点として必要となる整備が進められております。

防災・減災対策については、平成 29 年度に甚大な被害に見舞われた河川の改良復旧工事が今年度末に約 9 割の完成となる見込みであり、これらに加え、橋梁の耐震化や河道掘削などの防災・減災、国土強靱化に向けた取組など、県民の安全・安心の確保に向けた対策を進めてきたところであります。

こうした中、コロナ禍を契機に、時代は大きな転換点を迎えており、当面の対応指針として策定した「ウィズ・アフターコロナ秋田ビジョン」のもと、人や産業の地方分散を見据えた道路ネットワークの整備・港湾機能の強化を着実に推進していくとともに、「人材誘致」という新たな視点で本県への移住等を促進するなど、アフターコロナを見据えた施策を展開してまいります。

特に「住宅リフォーム推進事業」に関しては、少子化対策の一環としての子育て世帯への住宅支援や、秋田への人の流れづくりとしての移住・定住世帯への住宅支援など、県の重要課題に特化した補助制度として、在宅リモートワークの環境整備など今般のコロナ禍を契機とした働き方の変化を踏まえて対応してまいります。

今後も、人口減少下においても持続可能な地域づくりを進めるため、経済活動や住民生活の基盤となる社会資本の整備に加え、防災・減災、国土強靱化の更なる対策を加速するとともに、災害対応や除排雪作業など地域を支える建設産業の担い手の確保や労働環境の改善にも配慮し、県民が安全・安心に暮らすことができる地域社会の形成に向けて取り組んでまいります。

結びに、秋田県建築士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



秋田県建設部建築住宅課長 中野賢俊

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より県の建築・住宅行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年から世界的規模で拡大している新型コロナウイルス感染症は、第三波の到来とも言われるように、未だ終息の兆しが見えず予断を許さない状況が続いております。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」をはじめとして、様々な行事が延期又は中止されるなど、各方面への影響が続いており、貴会におかれましても、今年 10 月に予定されていた「第 64 回建築士会全国大会あきた大会」の開催が来年に延期されたことにより、多大な影響を被られたことと存じます。

ワクチン開発は、いよいよ実用段階に入ったとの報道もありますが、日本で広く予防接種を受けられるまでには、今しばらくの時間が必要と見込まれることから、まずは「新しい生活様式」を愚直に実践し、感染拡大の防止に努めることが、今の私たちにできる社会貢献の一つではないかとも思うこの頃です。

一方、このコロナ禍は、これまでの社会経済のあり方や価値観にも大きな影響を及ぼしており、人口集中の負の側面が改めて浮き彫りになったほか、ビジネスのオンライン化の加速や、若い世代を中心とした地方への関心の高まりなど、まさにパラダイムシフトが起こりつつあるのではないかと考えます。

このような状況を踏まえ、県では、感染の拡大により影響を受けた「第 3 期ふるさと秋田元気創造プラン」を補完するものとして、当面の対応指針を「ウィズ・アフターコロナ秋田ビジョン」にとりまとめました。

建築住宅分野でも、県政の最重要課題である人口減少・少子化対策に資する取組の一つとして、「住宅リフォーム推進事業」を実施しており、今年度は、ビジョンに基づく取組として、10 月から、在宅リモートワークの環境整備を行う県外からの移住・定住世帯に対する支援の拡充を図りました。

今後も、社会的環境の変化を踏まえながら政策目的に資するものについて、取組を進めてまいりたいと考えております。

さて、建築技術者を取り巻く環境も、大きく変わりつつありますが、身近なところでは建築士試験制度の見直しが挙げられるのではないのでしょうか。これまで、一定の実務経験が受験資格の要件とされてきたところ、今年の試験から、この要件が撤廃され、免許登録までに満たすべき要件へと改正されました。

これにより、若年層を中心に受験機会が拡大され、資格者の人材減少に歯止めが掛かることが期待されます。一級建築士試験の受験申込者数は、全国平均で前年比 22% 増加、本県でも同 16% の増加が認められました。

この後の合格発表（執筆時点）の結果が待たれるところでありますが、同時に、この制度の見直しが、若手建築技術者の県内定着、更には建築士会員の増加へとつながるよう、官民一体で業界の魅力づくりに努めたいと思います。

結びに、秋田県建築士会の益々のご発展と会員皆様のご健勝ご活躍を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

「Web 会議」活用のための基礎講習会 開催報告

新型コロナウイルス感染症の流行が、これまでの対面での建築士会活動等に大きな影響を与えています。しばらくの間、感染対策の継続が必要とされる中、流行下においても活動を停滞なく進めるためには、ICT の活用が不可欠であることから、今般、広く利用されている Web 会議システム（Zoom）の基礎を習得するための講習会を開催しました。この講習会は（公社）日本建築士会連合会と当会の共催で全国で最も早い時期に実施され、この様子はネットを通じて全国で公開する予定です。

Web 会議は、インターネットに接続できる端末さえあれば、会議会場に移動する必要がなく、時間の拘束も少なくなるため、これまでより、活動に参加しやすくなるメリットがあります。Web 会議への参加や招集方法、講習会の企画方法などの説明のあと、実体験するカリキュラムで、今後の建築士会活動のほか、日頃の業務におおいに活用されることを期待しております。

日 時：2020 年 11 月 26 日（木）14 時 00 分～16 時 45 分
場 所：イヤタカ 5 階ハーモニーホール
主 催：（公社）日本建築士会連合会、（一社）秋田県建築士会
C P D：2 単位
参加者数：27 名（会員 22 名・非会員 4 名・賛助会員 1 名）

時 間	スケジュール		
14:00	開会の挨拶	（公社）日本建築士会連合会副会長・（一社）秋田県建築士会会長	淡路孝次
	講習会概要説明	（公社）日本建築士会連合会情報部会	大石佳知
14:10	周辺機器準備内容の説明	（公社）日本建築士会連合会情報部会長	安田和人
	動画説明		
	プレゼンテーション説明（PPTX）		
14:40	Zoom 導入についての説明（PPTX）		
	・ Zoom アプリの取り入れ方		
	・ アプリの使用方法		
	・ Zoom 会議の作成方法～召集の仕方		
15:30	休憩		
15:40	実際に Zoom を取り入れ、模擬会議の開催		
16:00	使い方のコツの説明		
	質疑回答		
16:25	閉会の挨拶	（公社）日本建築士会連合会情報部会長	安田和人

【開催内容】

開催に先立ち、(一社) 秋田県建築士会 淡路会長より開会のご挨拶の後、今回の講習会の概要を、(公社) 日本建築士会連合会情報部会 大石委員より説明がありました。



(大石委員による概要説明)

その後、安田部会長より周辺機器準備に関する説明がありました。

周辺機器準備については PPTX データを元に解説があり、このプレゼンテーション動画については、後日、利用していただきたいとの説明がありました。

当初は講習会の状況をライブ配信する予定でしたが、機器の不備等による事態も想定されるため、運営側にて仮想事務局とする「Zoom 会議」を設け、Zoom を通じて閲覧できる状態で進行いたしました。



(会場全体の様子)

その後、講習会申込時に参加者が提示したメールアドレスに、Zoom 会議説明用の招待メールを送信しました。

参加者は、実際に Zoom を使いながらのハンズオン形式で講習を受けました。

予定では、ホスト（会議主催者）と参加者側に分かれ、Zoom 会議の招待から会議開始までを行っていただく予定でしたが、時間の都合により、オンライン会議内でのマナー、意見出しの行い方、カメラの使い方などを紹介しました。

【今後の開催に向けての改善点】

- ・講習会開催に先立ち、参加者の皆様から提示されたメールアドレスが「会場で使用できるメールアドレス」であるかを確認しておく必要がある。（会社用のアドレスを登録された方に、セキュリティの関係で講習会用のメールが届きにくい。）
- ・複数人が同時にネット環境を利用するため、ネット環境の容量が不足し、Zoom などが途中切断されることが発生した。



(閉会時の部会長挨拶)

- モバイル Wifi などを準備し、ネット通信の区分を行う必要がある。
- ・講師側も同様にフリー Wifi を利用したため、講習中に画像が途切れることが起こった。
 - 講師は別のネット環境（モバイル Wifi 等）で分離しておく必要がある
- ・ライブ配信を行うにあたり、著作権等の確認や参加者の肖像権等の確認を事前にとる必要がある。

【参加者アンケート結果】

回答は、原文のまま掲載させていただきました。

Q1：開催時期について

- ・開催時期は連合会からの要請もあつての講習会でしたのでそれで良かったと思います。今後は建築士会の年間事業の中でやるのであればいつでも良いと思います。
- ・12月、1月を外せばいつでも良いと思う。
- ・今回の開催時期については特に問題なかった。5G など技術が大きく変化した場合早めの講習を希望。
- ・開催の周知期間をできる限り確保する（周知期間が短く、日程調整が困難な会員がいた）
- ・ICT 活用推進は、連合会の追加施策で有り、理事会承認後、年度内に成果を上げるためには、早急に実施する必要があったと思う。
- ・11～12月是非常に本業が立て込む時期（特に公共事業を相手にしている事業者）であるため、スケジュール調整が厳しかった（もう少し早めに計画、連絡を頂ければスケジュール調整がし易かった）
- ・年度末は何かと多忙の方が多く、参加できない方も多かったと思う。（冬が来る前の竣工等）周知期間が短く、また強制参加的な連絡もあり、参加しなくてはいけないのかと調整するのに大変だったとの声も聞こえてきた。

Q2：開催日程、及び時間帯について

- ・講習時間をプラスして欲しい。
- ・今回の開催日程・時間帯にしては特に問題なかった。ただ、ネット環境などによるかもしれないが、習熟・反復する機会があるとベター。
- ・内容に対して時間が足りていないように感じました。
- ・往復時間を含み半日の講習会であり、遠方からも参加しやすい時間設定であった。
- ・女性会員からは土曜日でなければ参加しづらいとの意見があった。
- ・日程問題なし、時間が後半急いだ感あり、もう30分程は欲しい
- ・初心者向けかつ、主催者としても初の試みということであれば、もう少し時間に余裕を持ってタイムテーブルを組んだ方が良かったと思った（特にICT初心者を相手にするなら、立ち上げるまで、繋げるまでに時間がかかるので（体験談）
- ・平日の午後という設定はよかった。タイムテーブルに余裕がなかった。

Q3：会場について

- ・良かったです。ただ人数が多くなればもう少し大きい会場が必要になります。Webの繋がりが良くなかったので改善が必要です。
- ・スペース的には問題なかったが、ネット環境が講習会規模に対応出来てなかった。
- ・イヤタカ駐車場が満車となってしまう、会場からやや離れた場所に駐車しました。また、Wi-Fi



設備が不十分であるように感じましたので、次回開催時は別の場所を希望します。

- ・ LAN 環境の事前確認を行う（会場で LAN へアクセスが集中した）
- ・ パソコン利用を前提とした会場が望ましい。
- ・ 一般のホテルの宴会場や会議室では困難。
- ・ アクセスの集中について、多少はやむを得ない。
- ・ 早めに会場入りして駐車出来たが、駐車場スペースが足りないかと心配した
- ・ 会場スペースにゆとりがあり良かったが、スクリーンが小さかった。また、駐車場が満車であり近くの有料パーキングを利用した人が多いようだった。
- ・ 立場は問題なかったが、WEB 環境がいまいちであった。スクリーンも小さかった。

Q4：参加人数について

- ・ 初回にしては良かったと思います。
- ・ 参加者の講義内容への習熟度によるが、講師の人数に比して今回は少し多いように感じた。
- ・ コロナ禍にあるので部屋の大きさにあった人数だと思う。
- ・ 適正であった。少ないと寂しいし、初心者向けと称するなら参加者が多すぎると心配りができなくなり、講師側（補助スタッフ）の人員を増やす必要がある。
- ・ ちょうど良い人数・間隔であった初心者向けとするのであれば、補助する人は多いほうが良かった。

Q5：講義内容について

- ・ 個人的には、全体的に大変良かったが、自分がホストになった場合のエクササイズを練習したかつ

た。

- ・参加者の習得度に差があり、内容の設定が難しかったと思う。
- ・初歩的な部分から説明があり分かり易かった
- ・経験者でも改めて確認できる項目もあり、また、新しく知る項目もあったため良かったと思う。
- ・初心者と経験者が同じ土俵でのスタートであったため、無理・無駄が多かったように思う。特に持ち上げて繋がるまでの時間が、経験者にとっては、もったいない時間だった。内容については、初回としては良かった。
- ・実際にやりとりする時間がほしい。
- ・実際に試してみる時間が取れなかったのが残念でした。

Q6：講義の時間配分について

- ・Web 会議の模擬も出来れば良かったが時間が足りなかったです。
- ・余裕をもって長くしてもよい。
- ・自分にとっては講義の密度が濃く、内容の幅も広がったので、聞き流すことに時間がとられた。自分が知りたいテーマに絞って何度も聞けると良いと感じた。(DVD や土会 HP で視聴に期待)
- ・予期せぬ接続トラブルのため、配分が狂ってしまったのは致し方ないかもしれませんが、事前に接続環境の十分な検証は必要であったかと思います。
- ・周辺機器準備内容の説明（他の講義を考慮すると多少省いても良いのでは）
- ・zoom 導入についての説明（丁寧な解説で理解しやすかった）
- ・模擬会議の開催（パソコン設定の関係でアクセスできない参加者もあり、時間を要した）
- ・使い方のコツの説明（時間の関係でやや駆け足となってしまった）
- ・もう少し後半の実践に時間が欲しかった
- ・実技演習が時間の都合により省略されてしまったようだが、それを目的として参加してくれた人もいると思う。実技演習まで経験できるかできないかで、習熟度が大きく変わったと思う。
- ・実技演習までいけなかったのが残念である。実技を行ってなんぼの講習会だったと思う。そのため達成感がなかった。
- ・実際にやりとりする時間が欲しい。
- ・講義前に接続する時間がかかっていたので、早めに集合して欲しいなどの事前のアナウンスがあればよかった。

Q7：その他

- ・理事会を実際に Web でやってみたら良いと思います。
- ・講習会は参考になるし、どんどん利用する事になるので度々開いて欲しい。
- ・今回は zoom についてであったが、zoom + CAD + Excel などの使用例など、業務での活用もお知らせいただきたい。自分で zoom を思うように使用できるようになった後に、仕事での利用を考えるとそこまでは届きたいと思いました。
- ・一つの会場で同時に端末を接続して WEB 会議の講習会を行う機会は今回が初めてでしたので、非常に有意義な時間となりました。今後も同じような講習会企画して頂ければ、社内の別も者にも受講させたいと考えております。引き続き、よろしく御願いたします。
- ・参加申込みをメールでもしてもらい、有効なアドレスを把握しておく。
- ・集合研修後（後日）に、実際に離れた状況で zoom に接続してみる。

- ・アンケート（質問用紙）を配布する。（疑問点に答えるとともに、今後の参考とする。）
- ・Web 会議活用基礎講習会自体、Web を併用し行う。
- ・役員の皆様お疲れ様でした
- ・これきりとせず、次回は実技演習とか中級者向け講習など開催できれば良いと思う。
- ・秋田が最初ということだったが必要に迫られている人が少ないため、普及率が低いと解釈すると、最初でなくても良かったのではないかと感じる。「必要な人＝ネットで検索して出来る人」で、「不要な人＝使用機会のない人」である。今回、ネットで検索できるような内容については不要な人も多かったと思うので、もう少し講義内容を熟考してからでも良かったのではないか。コロナ禍に Web 会議を行うために集まって講習会を行うこと自体が、本末転倒ではないかという声があった。
- ・実際にやりとりする時間が無かったので、身についたかどうか分からないのでは。

【講習テキストの配布】※会員等限定

当日使用したテキストのデータ配布を行っております。希望される方は、下記のメールアドレスに『Web 会議講習テキスト希望』と記載して申し込みください。

- ① 00_ オンライン会議、セミナー実施のポイント（PDF：264KB）
- ② 01_WEB 会議導入に向けた準備機器について（PDF：802KB）
- ③ 03_Zoom を活用した講習会開催について（PDF：756KB）

申し込み先：（一社）秋田県建築士会 事務局

E-mail：Ak-jimukyoku@akitakenchikushikai.or.jp

「横手の雪まつり」

～ミニかまくら作りを通じて触れる郷土の風習、文化～

横手建築士会 亀井沢 洋 平



450年に亘り横手市に伝わる小正月行事である「かまくら祭り」は、毎年2月15日～16日に開催されます。昨年の冬は記録的な暖冬により、かまくら設置部分以外は地面が露出している状態でしたが、ちょうどこの手記を執筆している12月中旬が横手市において観測史上最高の記録的な降雪量となっており、同じ冬でありながら一年でこれ程違うものかと改めて自然の気まぐれに驚かされます。

例年、横手建築士会でも横手公園を中心にミニかまくら作りや、観光にいらっしゃったお客様にかまくら作り体験をしてもらったり、かまくらに入ってその趣きを感じてもらったりと文化に接するお手伝いをしてきましたが、ここ数年で特に感じるのは外国から訪れる方々が随分と増えている様に思います。コミュニケーションを通じて思うことは、我々日本人と比較して臆せず極めて積極的にこれらの体験に参加されているように思います。恥ずかしながらカタコトも英語が話せない自分ではありますが、そんな事は気にする素振りもなく身振り手振りで意思疎通をし最後は笑顔でgood-by！

「世界の共通言語は英語じゃなくて笑顔だと思う」そんな耳に馴染んだ歌が実体験として蓄積されるのでありました。

昭和11年にドイツの建築家ブルーノ・タウト氏が日本に訪れた際、かまくら祭りの幻想的な風景を著書「日本美の再発見」の中で絶賛されていたようですが、折あらば是非同著書にも目を通して、氏が見ていた当時のかまくらと現在のかまくら祭りの共通点、相違点を見つけてみたい・・・

そんな想いにかられつつ、これからも国内外問わず地元の風習、文化への接する機会作りに微力ではありますがお手伝いを続けていきたいと思っています。

残念ながら2021年のかまくら祭りは昨今のコロナウィルスの影響から、観光としての行事は行わないとの事、あらゆる神事は神様を祀ることに端を発するものと思いますが、今年こそは正に祈りたくなるような事ばかり。次回は「無病息災」、「平常な日々の訪れ」等々を静かに水神様に願いたいです。

会 務 報 告

(令和2年8月～令和2年12月)

- 8月1日(土) 令和2年度第1回青年委員会開催
於：ユースパル
- 8月4日(火) 連合会北海道・東北ブロック会議
(WEB会議)へ、淡路会長出席
- 8月25日(火) 既存住宅状況調査技術者講習会【新規
講習】開催 受講者8名 於：秋田市
文化会館
令和2年二級建築士学科試験合格発
表。合格者52名
- 8月27日(木) 既存住宅状況調査技術者講習会【更新
講習】開催 受講者70名 於：秋田市
文化会館



既存講習

- 10月10日(土) 第1回まちづくり部会開催 於：セン
タース
- 10月11日(日) 令和2年一級建築士製図試験実施 受
験者35名 於：秋田県JAビル
- 10月13日(火) 一級・二級・木造建築士定期講習開催
受講56名 於：北秋田市交流セン
ター
- 10月14日(水) 連合会第3回総務・企画委員会 (WEB
会議)へ、小原連合会総務委員出席
- 10月16日(金) 第34回「秋田の住宅コンクール」審査
会へ、草薙青年委員長出席 於：秋田
ビューホテル
- 10月19日(月) 連合会第2回正副会長会議 (一部
WEB会議)へ、淡路会長出席
- 10月26日(月) 連合会第45回定例理事会 (WEB会議)
へ、淡路会長出席
- 10月27日(火) 令和2年度東北ブロック会まちづくり
委員会開催、高橋まちづくり委員長、
鈴石ブロックリーダー外出席 於：ア
トリオンビル
- 11月4日(水) 令和2年度東北ブロック一級建築士登
録マニュアル等説明会へ、植田事務局
長外出席 於：仙台市
- 11月12日(木) 一級・二級・木造建築士定期講習開催
受講72名 於：大仙市大曲交流セン
ター
- 11月21日(土) 令和2年度全国女性委員長 (部会長)
(WEB会議)へ、淡路会長、松橋女性
委員長出席
- 11月25日(水) 令和2年度木材利用提案コンクール審
査委員会へ、淡路会長出席 於：秋田
県社会福祉会館
- 11月26日(木) 「WEB会議」活用のための基礎講習会
へ、淡路会長外出席 於：イヤタカ
- 11月30日(月) 連合会第2回役員候補者選考規程見直
し検討TF (WEB会議)へ、淡路会長
出席
- 12月1日(火) 令和2年度東北ブロック会長会議開
催、淡路会長、植田事務局長、伊藤事
- 8月31日(月) 連合会第1回総務・企画委員会 (WEB
会議)へ、小原連合会総務委員出席
- 9月8日(火) 令和2年一級・木造建築士学科試験合
格発表。合格者16名
- 9月13日(日) 令和2年二級建築士製図試験実施 受
験者97名 於：秋田県生涯学習セン
ター
- 9月15日(火) 連合会第2回総務・企画委員会 (WEB
会議)へ、小原連合会総務委員出席
- 9月26日(土) 令和2年度第2回東北ブロック会女
性委員会委員長会議 (WEB会議)へ、
松橋女性委員長出席
- 10月1日(木) 令和2年度第2回理事会開催 於：セ
ンタース
- 10月9日(金) 連合会第2回情報部会 (WEB会議)へ、
小原連合会総務委員出席

務局次長外出席 於：秋田キャッスル
ホテル



会長会議

- 12月3日(木) 令和2年二級建築士及び木造建築士製
図試験合格発表。二級合格者49名
- 12月4日(金) 令和2年度中間会計監査開催
- 12月16日(水) 令和2年度第3回理事会開催 於：秋
田キャッスルホテル
- 12月25日(金) 令和2年一級建築士製図試験合格発
表。合格者10名

令和2年8月～令和2年12月

地域会だより

○鹿角建築士会

出席 7人

令和2年

○大館・北秋田建築士会

令和2年

- 9月17日 第1回まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会） 於 大館中央公民館
- ・昨年度の活動報告
 - ・会計について
 - ・今年度の予定について

出席 6人

- 9月29日 まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会）
- 麓家調査 於 扇田 麓家
- ・敷地測量・建物平面・聞き取り

参加 9人

- 10月9日 第2回まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会） 於 大館中央公民館
- ・麓家の調査について
 - ・田代・大館南地区の調査について
 - ・老犬神社の調査について

出席 9人

- 10月17日 まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会）
- ～田代地区建物調査

於 田代地区

- 10月18日 大館南地区建物調査
- 於 仁井田・十二所

参加 8人

- 10月30日 第3回まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会） 於 大館中央公民館
- ・田代・大館南地区調査のまとめ方
 - ・麓家調査について
 - ・スキルアップ講座について

- 11月7日 まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会）

老犬神社調査

- ・老犬神社 別当 木次谷賢一様 同行

参加 6人

- 11月11日 第3回ヘリテージマネージャースキルアップ講習会

- ・桜櫓館耐震改修工事現場見学会

於 大館市桜櫓館

解説 山辺構造設計事務所 山辺豊彦氏・矢口浩史氏

- ・講演会 「大館市桜櫓館の耐震改修について」 於 大館市民文化会館
- 講師 山辺構造設計事務所 山辺豊彦氏

参加 25人

- 11月20日 第4回まちづくり委員会（大館歴史的建造物研究会） 於 大館中央公民館

- ・田代地区・大館南地区のまとめ方
- ・田代地区・大館南地区の写真の選定

出席 8人

○能代山本建築士会

令和2年

- 9月27日 秋の有志ゴルフコンペ～南秋田CC

20名参加

- 12月8日 青年部 地域貢献活動～金勇清掃

8名参加

- 12月11日 令和2年度第2回理事会 プラザ都

9名参加



○秋田中央建築士会

令和2年

- 11月18日 令和2年度第2回役員会(於:センタース)
《議事》あきた大会会場利用基本事項について

○由利建築士会

令和2年

- 9月18日 会員情報交流会 (於:安楽温泉)
高橋会長、外10名出席

○仙北建築士会

令和2年

- 8月16日 空き家無料相談会 仙北地域振興局
建築課主催 (於 大曲交流センター)
佐藤副会長参加
相談者22名
- 11月12日 建築士定期講習会 監督員補助
(於 大曲交流センター)
佐々木智昭青年委員長参加
- 11月27日 理事会 令和2年度 第3回常任理事会、第2回理事会 12名出席
(於 花火伝統文化継承資料館 はなび・アム)
1. 講習会及び新年会について
 2. ペアーレ住宅講座について

3. 第64回建築士会全国大会あきた大会について
4. 空き家相談会の報告
5. あきた建築士ニュース新年号広告について
6. 会費納入状況について
7. その他 (来年度役員改選について他)

○横手建築士会

令和2年

- 10月5日 第2回理事会報告(書面による報告とする)

1.会務報告

(県本部)

- ・第2回理事会 10月1日
各委員会事業報告(別紙参照)
第64回秋田大会について
(仮称)あきた芸術劇場にて令和4年10月14日開催予定

2.報告

- ① 会費の徴収について
- ② 定例会議、主行事日程について
 - ・第1回理事会 令和2年7月1日 書面報告
 - ・第2回理事会 令和2年10月5日 書面報告
 - ・秋田県建築士会本荘大会 令和3年度に延期
 - ・第3回理事会 予定 令和3年1月20日
 - ・講習会 未定 令和3年2月24日
 - ・第4回理事会 予定 令和3年3月24日
- ③ その他
 - ・令和3年度横手建築士会総会について
予定 令和3年5月15日(土)

○湯沢雄勝建築士会

令和2年

- 新型コロナウイルス感染症防止のため、活動を自粛いたしました。

since 1969

令和の新時代と共に踏み出した100年企業への道

私も日建で
頑張りました。

1級建築士合格/卒業生さん

1級建築士 合格実績

No.1

日建学院平成30年間の合格実績

1級建築士 90,284人

(全国累計 158,307人*)

当学院の1級建築士
合格者占有率

57.0%

平成の30年間に誕生した1級建築士の
半分以上が日建学院生です!

※上記全国累計は(公・財)建築技術教育普及センター
発表試験結果(1989~2018年)のデータです。

どんな時も、安心・安全な講義で、受講生の頑張りを結果に!

結

三冠達成!

日建学院は、客観性・公平性の高い第三者の調査機関より
下記の3つでNo.1の評価をいただきました。



女性を選ぶ資格スクール
No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座
No.1



大学生を選ぶ資格スクール
No.1

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2020年4月期_ブランドのイメージ調査

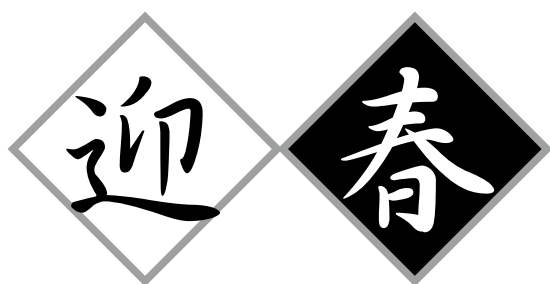
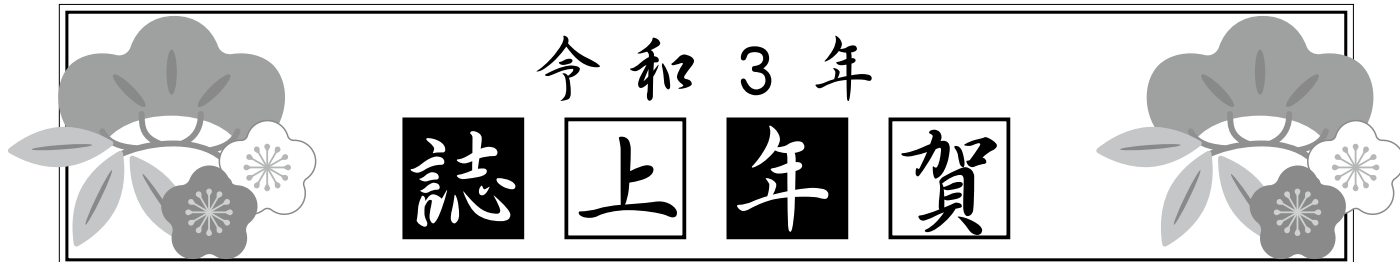
あなたの夢、応援します。

日建学院

資料請求・各種お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ!

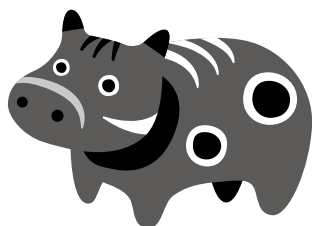
秋田校 TEL.018-801-7070

〒010-0001 秋田県秋田市中通6-7-9 秋田県畜産会館2F



2021

新春を迎え平素のご厚情
を深謝し、皆様のご健康
とご多幸をお祈り申し上
げます。



一般社団法人 秋田県建築士会

〒010-0001

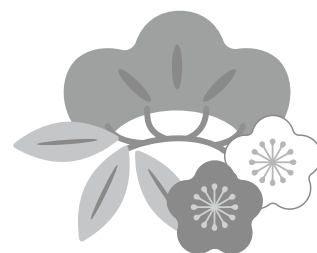
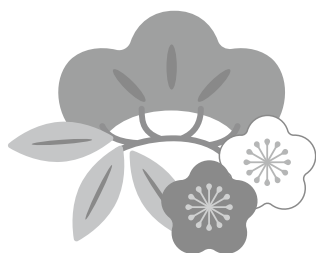
秋田市中通2-3-8アトリオン5階

(一財) 秋田県建築住宅センター内

TEL 018-827-3718

FAX 018-827-3873

会 長	淡 路 孝 次	理 事	小 原 正 明
副 会 長	田 仲 雅 美	櫻 庭 星 治	正 星 和 美
	照 井 郁 人	正 木 泰 正	泰 正 美 樹
	石 川 成 誠	湊 池 一 博	池 脇 藤 博
専務理事	小田島 誠	菊 山 工 草	藤 草 雅 一
常務理事	柳 沢 富美男	山 脇 藤 一	藤 橋 雅 子
	高 橋 幸 治	工 藤 一 雅	橋 道 子
	佐 藤 隆 志	草 藤 一 雅	道 純 悦
	児 玉 安 宏	加 松 西 谷	西 谷 昭 知
	鳥 湯 高 庭 川	清水 中 泉 根	中 泉 根
	大 櫻 赤		
理 事		青年委員長	
		同副委員長	
		女性委員長	
		同副委員長	
		監 事	



謹 賀 新 年

令和3年元旦

鹿 角 建 築 士 会

住 所 〒018-5334 鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1 十和田建築設計事務所内
T E L 0186-30-3500 F A X 0186-30-3600

顧 相 談 副 総 会 理 監	問 役 長 副 会 理 事 監	阿 柳 神 戸 高 安 戸 阿 田	部 部 沢 田 館 屋 保 館 部 中	秀 正 富 幸 康 廣 康 悦 教	一 男 憲 博 美 尊 博 郎 雄	和 大 中	田 森 昇 純 悦	寛 治 悦	石 川 典 男	金 澤 一 美	湯 金	瀬 澤 芳 宏	夫 樹	佐 兄	藤 玉	重 安	則 宏
--------------------------------------	--------------------------------------	---	--	---	---	-------------	-----------------------	-------------	------------------	------------------	--------	------------------	--------	--------	--------	--------	--------

謹 賀 新 年

令和3年元旦

〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1



有限会社
十和田板金工業所
十和田建築設計事務所

代表取締役 柳 沢 富美男

TEL (0186)30-3500 FAX (0186)30-3600

謹 賀 新 年

令和3年元旦

設計・監理



中西建築設計事務所

主宰 中 西 純 悦

秋田県鹿角市花輪字柴切田15-3
PHONE 0186-22-1400
F A X 0186-22-4025

謹 賀 新 年

令和3年元旦

建築・設計・施工
リフォーム・コンサル業務

株式 創 企 画
会社

〒018-5334
秋田県鹿角市十和田毛馬内字押出35-3
TEL 0186-35-2470
FAX 0186-35-2733
E-mail:som99cs9@ivy.con.ne.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦

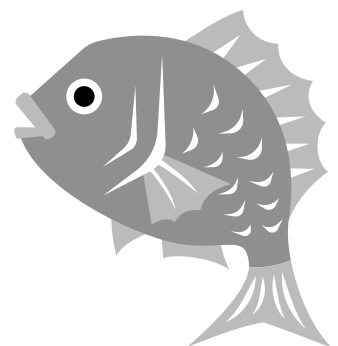
設計監理



有限会社 阿 部 設 計

代表取締役 阿 部 秀 一
管理建築士 児 玉 安 広

事務所／〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字下夕町212-12
TEL 0186-23-7211 FAX 0186-23-7212



謹 賀 新 年

令和3年元旦

大館・北秋田建築士会

住 所 〒017-0046 大館市清水一丁目5-4 (有)石川建築内
T E L 0186-42-2065 F A X 0186-42-1943

顧問 相談 会副 専務 常理	問役 長 会 務理 事	福松 石 嶋 小 加 賀 小 安 信	原岡 川山 潟林 谷林 達屋	淳 富 美 宏 一 時 勝 真 由 美 久	嗣裕 成男 一男 代雄 美久	津田 小笠 原	谷中 小笠 原	永寿 藤 留 美 正 幸	光一 寿 美 子 正 幸	小笠 原 三 浦 英 人	勝起 英 人	則德 子 光 司	島石 長 谷 部 武	山山 清 大	由武 徹 智	清水 高 熊	敏 昌	雄 剛
----------------------------	-------------------------	--	----------------------------	---	----------------------------	---------------	---------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------	-------------------	------------------------	--------------	--------------	--------------	--------	--------

謹 賀 新 年

令和3年元旦

いつもそばに 地域と共に ... 未来へ



株式会社 吉田産業

取締役支店長 松澤清美

■大館支店 〒017-0878 大館市川口字上野85-1
TEL 0186-43-2233 FAX 0186-43-2232
■能代営業所 〒016-0884 能代市卸町2-7
TEL 0185-54-2602 FAX 0185-54-8458

謹 賀 新 年

令和3年元旦

床材の決定版
環境にやさしい天然素材

床材・壁材・階段材・カウンター (JAS認定工場)

藤島木材工業株式会社
藤島林産株式会社

☎018-3301 北秋田市綴子字田中下モ31
T E L 0186(62)0390~1
F A X 0186(62)0392

謹 賀 新 年

令和3年元旦



おかげさまで会社設立138年
建設から暮らしまで

株式会社角弘大館支店

☎017-0044 大館市御成町一丁目16番10号
支店長 柴田 望
TEL0186-42-3041 FAX0186-49-0985
URL <http://www.kakuhiro.co.jp/>

謹 賀 新 年

令和3年元旦

人のそばに、夢のそばに。
山二建設資材株式会社
大館営業所

〒017-0838
秋田県大館市山館字八幡下150
TEL 0186(42)7521
FAX 0186(42)7520
URL <http://www.yamani-ks.co.jp/>

謹 賀 新 年

令和3年元旦

屋根・壁・太陽光発電…創エネで未来をリード



株式会社セキノ興産
大館店

〒017-0836

秋田県大館市池内字中台300

T E L (0186) 42-7611

F A X (0186) 42-7613

謹 賀 新 年

令和3年元旦

工事は地元の信頼できる
工務店にお任せ

〈住まいづくりに奉仕する〉



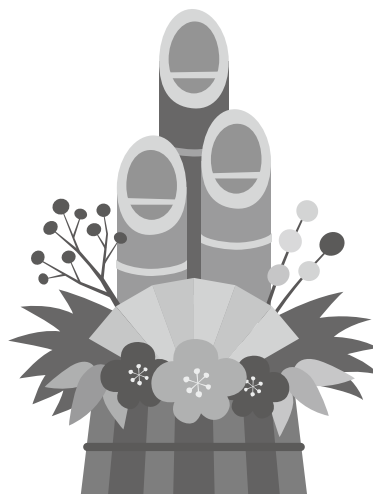
三浦木材株式会社

代表取締役 三 浦 功 達

〒017-0031 大館市上代野字上代野5-1

T E L 0186-48-5811

F A X 0186-48-5814



謹 賀 新 年

令和3年元旦

能 代 山 本 建 築 士 会

住 所 〒016-0845 能代市通町1-16 サクラバ設計内

T E L 0185-53-5667 F A X 0185-74-6020

顧 問
相 談
会 副
理 事
監 事

中 田
松 大
大 櫻
西 佐
佐 相
加 藤

福 潤
里 三
友 勇
一 徹
次 見
郎 喜

熊 谷 勝
佐 々 木 政 幸
長 門 雅 哉
田 村 喜 宣
藤 田 徹 剛

永 井 儀 博 幸 坂 誠
今 井 浩 一 池 田 佐 保

謹 賀 新 年

令和3年元旦



KAN ARCHITECTS & ENGINEERS

設計集団 環 協同組合

代表理事 佐 藤 友 一

〒016-0811 秋田県能代市日吉町20-25

TEL0185-55-0022・FAX0185-55-0023

謹 賀 新 年

令和3年元旦

ISO9001認証取得



中田建設株式会社

代表取締役社長 中 田 潤

本 社 〒010-0951 秋田市山王五丁目9番2号

TEL018(864)3211(代) FAX018(864)3216

能代本店 〒016-0804 能代市万町4番29号

TEL0185(54)3911(代) FAX0185(55)0226

謹 賀 新 年

令和3年元旦

建築工事・不動産

熊谷建設株式会社

〒016-0015

秋田県能代市須田字屋布添76番地

T E L 0185-54-4600

F A X 0185-54-4107

謹 賀 新 年

令和3年元旦

秋 田 中 央 建 築 士 会

住 所 〒010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル5F
T E L 018-836-7850 F A X 018-836-7852

相 談 役	淡 土 田 加 伊 赤 北 竹 畑 伊	路 田 仲 藤 藤 川 嶋 田 山 藤	孝 久 美 子 美 成 子 則 美 子 英 師	工 湯 櫻 庭	藤 沢 庭	晴 隆 星 治	治 市 治	小 竹 哲 夫	鈴 木 玲 子	高 橋 智 徳
会 副 会 計 理 事				伊 小 館 原 佐	藤 玉 岡 田 藤	敦 博 恒 重	朗 人 人 裕 明	植 佐 谷 樋	田 木 口 渡	一 展 美 輔
監 事								大 佐 西 若	友 藤 村 松	実 一 聖 博
									紘 康	小 鈴 能
										原 木 上
										正 浩
										明 樹 崇

謹 賀 新 年

令和3年元旦

Akita Association of Architectural and Design

一般社団法人 秋田県建築士事務所協会



会 長 村田 良太 (有村田弘建築設計事務所)
副 会 長 佐藤 勝美 (株ブルーフあいアーキテクツ)
副 会 長 佐藤 友一 (設計集団環協同組合)
副 会 長 清水川 隆 (有創建築設計事務所)
専務理事 花田 順 (有花田設計事務所)
理 事 一 同

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番7号 東カンビル6階
電 話 018-865-1225 FAX 018-865-1293
URL: <http://www.akitafao.jp> Email: akitafao@cocoa.ocn.ne.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦

秋 田 県 建 築 物 定 期 報 告 調 査 ・ 検 査 協 会

本会は、建築基準法12条の規定に基づく建築物の調査・検査者として活動している有資格者で組織されております。建築物の調査・検査の業務を行なっている方は、是非入会ください。

事務所 〒010-0953 秋田市山王中国町10-33 TEL 018-865-1540 (FAX 兼用)

【 役 員 】

会 長	田 中	寿 一	相 談 役	三 平	光 一
副 会 長	松 橋	孝 則	理 事	鈴 木	誠 一
理 事	信 濃	豊 辰	理 事	柳 谷	吉 信
理 事	嶋 崎	政 良	理 事	熊 加	俊 静
監 事	早 高	橋 橋	監 事	渡 邊	佳 宇

謹 賀 新 年

令和3年元旦

建築物の中性化・塩害補修から予防保全まで

リフリート工法

調査・検査・診断から施工そして完了まで
— システムチェックに推進 —

秋田県リフリート工法施工技術協会

事務所 秋田市外旭川字田中6番地 TEL 018-862-5484

調査と改修工事のご依頼は
リフリート (検査)

リフリート工法協会

(会 員 名 簿)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社加賀町電機	018-845-1247	株式会社フジベジ	018-866-2235
株式会社黒澤塗装工業	018-835-1084	有限会社藤義塗装	018-834-9064
栄建設有限会社	018-847-2901	丸谷塗装工業株式会社	018-823-8581
三建塗装株式会社	018-862-5484	株式会社三國	018-884-8888
株式会社クアベシ	018-823-1373	有限会社塚清工業	0183-72-0038
株式会社電洋社	018-888-9200	有限会社久保上左衛門工業	0183-73-4140
株式会社ナカセシ	018-839-6110	岡左衛門工業株式会社	0186-29-4560
有限会社美工業塗装工業	018-816-0145	株式会社アールシー・ラック	018-853-1609
平野塗装工業株式会社	018-863-8555		

工事施工にあたってはリフリート工法施工管理士を置き、責任ある施工管理のもとで施工致します。

謹 賀 新 年

令和3年元旦

(一社)日本塗装工業会会員 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会会員
外壁改修工法リフリート工業会会員 NETIS 登録番号 KTK-15007-A

三建塗装株式会社

代表取締役 飛鳥 淳

本 社 秋田市外旭川字田中6番地
TEL 018 (862) 5484(代)
FAX 018 (862) 5564
URL: <http://www.sankenpaint.com>

大仙支店 大仙市戸地谷字川前359番地
TEL 0187 (63) 8035
FAX 0187 (63) 8036

謹 賀 新 年

令和3年元旦



総合建設業／一級建築士事務所

株式会社 長谷駒組

代表取締役 長谷川 尚造

〒010-0013 秋田市南通築地8-10

TEL. 018(834)5445(代) FAX. 018(834)5437

謹 賀 新 年

令和3年元旦

代表取締役 足利 健



総合建設業

株式会社 足利工務店

〒019-2601

秋田市河辺和田字岡村239

電話／018-882-2059・ファックス／882-2153

仙台営業所

仙台市宮城野区鶴巻2丁目3-43

TEL. 022-781-6301 FAX. 022-781-6302

謹賀新年

令和3年元旦

技術と信頼で明日を拓く

 **互大設備工業株式会社**

代表取締役 脇 屋 憲 一

本 社 秋田市添川字境内川原228-27
☎018-833-9270

謹賀新年

令和3年元旦



株式会社 北日本建築検査機構

代表取締役 國 安 恵 子

■建築基準法に基づく指定確認検査業務
■フラット35（適合証明）
■住宅性能表示

〒010-0029

秋田県秋田市橋山川口境13-7

T E L 018-884-0071

F A X 018-884-0072

E-mail info@kbo.co.jp

謹賀新年

令和3年元旦

電気・電気通信・消防施設・機械器具設置・設計施工

 **羽後電設工業株式会社**

代表取締役社長 七 山 慎 一

●本 社／秋田市八橋イサノ二丁目15-25 ☎(862)4953 FAX(863)0109

●営業所／横 手☎(32)3717・大 曲☎(62)2675・大 館☎(43)0778

男 鹿☎(35)2282・本 荘☎(22)5599・湯 沢☎(72)8611

仙 北☎(43)2018

謹賀新年

令和3年元旦

 **金子サッシ**

株式会社 K A N E K O

代表取締役 田 村 伸 一

〒010-1617

秋田市新屋松美ガ丘東町2番15号

TEL(018)863-1717 FAX(018)863-9234

謹賀新年

令和3年元旦

屋根工事・板金工事・ステンレス金物工事施工
 J X T G エネルギー災害対応型中核給油所

 **石井商事株式会社**

代表取締役社長 石 井 広 樹

本社・工事部／南秋田郡八郎潟町川崎宇屋裏17-4

TEL 018(875)2431・FAX 018(875)4245

ガソリンスタンド／南秋田郡五城目町大川大川字大堤41-1

TEL 018(875)2620

謹賀新年

令和3年元旦

 **東部ガス**

東部ガス株式会社 秋田支社

取締役支社長 佐 藤 規 博

〒010-0029

秋田市橋山川口境1番1号

TEL : 018-832-6595 FAX : 018-832-2116

謹賀新年

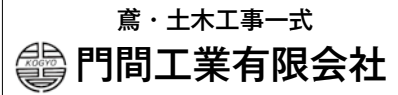
令和3年元旦



〒010-0001 秋田市中通五丁目6番17号
TEL (018) 835-0035
FAX (018) 832-6130
E-mail info@minami-kenzai.com

謹賀新年

令和3年元旦



代表取締役 石川 明 仁

南秋田郡井川町今戸字イナリデン3の4
TEL 018 (874) 2429
FAX 018 (874) 3922

謹賀新年

令和3年元旦

一般社団法人 秋田県空調衛生工事業協会

会 長 阿 部 公 雄
副会長 川 間 政 男
副会長 佐 藤 裕 之
副会長 遠 田 博 士

秋田市山王臨海町3-18 TEL (018) 824-7761

謹賀新年

令和3年元旦



一般社団法人
秋田県設備設計事務所協会

会 長 岸 和 章
副 会 長 酒 田 静 雄
副会長兼専務理事 小 林 健 太

〒010-0951
秋田市山王 3-1-7 東カンビル 7F
TEL018-863-7156 FAX018-863-7127

謹賀新年

令和3年元旦

一級建築士事務所
有限会社 村田弘建築設計事務所

代表取締役社長 村田 良太

■本 社
〒010-0971 秋田市八橋三和町18番15号
TEL 018-823-4345(代)
FAX 018-823-4328
<https://www.mrt-arch.co.jp/>

謹賀新年

令和3年元旦

設計・監理 一級建築士事務所
株式会社 クリエイテブライフ



代表取締役 淡路 孝次

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田266-2
TEL 018-868-5352 FAX 018-868-5348
E-mail creativelife@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年

令和3年元旦

ホームページ



長尺立平葺屋根

5&W工法

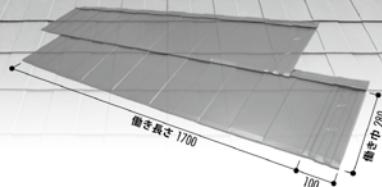
通し吊子一体型の水密性に優れた縦葺工法



定尺横葺屋根

柱目FLEX

“柱目”を連想させる斬新なデザイン



屋根・壁・太陽光発電・・・創エネで未来をリード!

セキノ興産

株式会社 セキノ興産 秋田店

☎ 018-880-2323 FAX 018-880-2221
〒011-0916 秋田市飯島字穀丁大谷地 1-7

謹賀新年

令和3年元旦

信頼と技術に真心こめて



株式会社 水原工務店

代表取締役 阿部 幸雄

本社 〒010-0952
秋田市山王新町 18-15
☎ 018-862-2601 (代)
FAX 018-866-0121

謹賀新年

令和3年元旦

総合建設業



伊藤工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 満

本社/〒010-1221 秋田県秋田市雄和平沢字舟津田78番地1
☎ 018 (886) 2135(代)

謹賀新年

令和3年元旦

総合電気設備・設計・施工



時田電機工業株式会社

代表取締役社長 時田 祐司

本社 〒010-0001
秋田市中通六丁目3番30号
TEL (018)832-8415(代)
FAX (018)834-0446

謹賀新年

令和3年元旦



冷暖房空調衛生設備から
上下水道設備・設計・施工

人のそばに、夢のそばに

山二施設工業株式会社

代表取締役社長 阿部 公雄

本社/〒010-0951 秋田市山王五丁目1-7
TEL 018-823-8146(代)
支店/横手 営業所/大曲・本荘・能代・湯上・男鹿
<http://www.yamani-s.co.jp>

謹賀新年

令和3年元旦

防水・塗装・塗床・改修工事全般



中外商工株式会社

秋田営業所 秋田市山王中島町2-8
TEL 018-863-2151 FAX 018-862-6994
本店 大阪市西区本町1-9-15
TEL 06-6443-7321
<http://www.chugai-af.co.jp>

謹賀新年

令和3年元旦

金属製建具工事 硝子工事



株式会社 小島商事

代表取締役 宮腰 徹

秋田市土崎港西四丁目1-32 TEL 018 (845) 4652(代)

謹賀新年

令和3年元旦

技術と信頼でご奉仕する
左官工學
 有限会社秋田サカングループ
代表取締役 東海林 作次

秋田市桜二丁目27-9 TEL 018(831)0017
FAX 018(835)9697

謹賀新年

令和3年元旦

塗 装 工 事
一般社団法人 日本塗装工業会会員
今 齋 佐々英塗装
代表取締役 佐々木 稔

☎010-0948 秋田市川尻新川町7-24
TEL (018)823-0996
FAX (018)863-7587

謹賀新年

令和3年元旦

STATIONERY & PAPER
TOMIYA
株式会社 **とみや**
秋田営業所

〒010-0951 秋田市山王3-8-34 (山王ツインビル)
TEL 018-862-8002 FAX 018-865-2490
URL <http://www.kk-tomiya.co.jp>

謹賀新年

令和3年元旦

舗装・自然石アート舗装・土木工事
産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業・再生資材各種販売
 株式会社 浜田建設

〒010-1654 秋田市浜田字長坂20番地
TEL (018)828-9082 FAX (018)828-4830

謹賀新年

令和3年元旦


KAKUHAN
est.1962
水のぬくもり つなぐたい
住宅資材総合商社
株式会社 角 繁
代表取締役 渡邊 光
本 社 秋田市中通二丁目1番22号
T(018)833-9461 F833-9464
事業センター 秋田市寺内字榎根85-38
T(018)863-5151 F863-5156
(工場・営業拠点)
秋田プレカストセンター (秋田市御所野)
仙台支店 山形支店 福島支店 いわき営業所

謹賀新年

令和3年元旦

 HAN ARCHITECT OFFICE
株式会社 汎建築設計事務所
代表取締役 鈴木 誠一

〒010-0914 秋田市保戸野サウ町14-23
☎ 018-862-3449 FAX 018-862-3289
E-mail: han_0416@cna.ne.jp
URL: http://www.cna.ne.jp/~han_0416/

謹賀新年

令和3年元旦

 **大友建設** 株式会社
一級建築士事務所
代表取締役 大友 実

〒010-0061
秋田市卸町一丁目10-1
☎018-823-2848 FAX 018-823-2853
E-mail ootomo@cna.ne.jp

謹賀新年

令和3年元旦

未来を築き地域社会に奉仕する
総合建設業
 藤 重 建設 株式会社
藤重建設一級建築士事務所
代表取締役 佐藤 重明

秋田市土崎港相染町字浜ナシ山62
☎018-845-2639・FAX 018-845-8836

謹賀新年

令和3年元旦

 新日本法規出版株式会社

〒981-3195 仙台市泉区加茂1丁目48番地の2
TEL (022) 377-1711 FAX (022) 377-3620
E-mail: sendai-eigyo@sn-hoki.co.jp

謹 賀 新 年

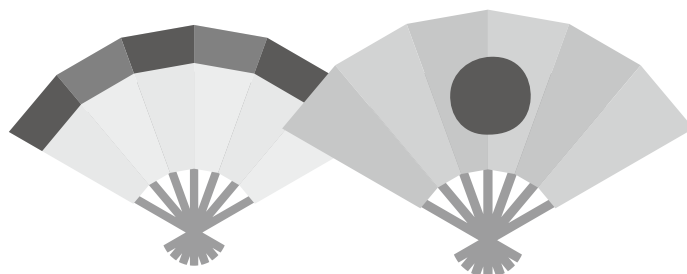
令和3年元旦



秋田協同印刷株式会社

代表取締役 赤 川 靖 宏

〒010-0976
秋田市八橋南二丁目10-34
TEL.018-823-7477(代)
FAX.018-824-2864
<https://www.akyodo.co.jp>



謹 賀 新 年

令和3年元旦

由 利 建 築 士 会

住 所 〒015-0011 由利本荘市石脇字尾花沢54-133 (株)工藤設計事務所内
T E L 0184-23-3588 F A X 0184-23-3558

名誉会長 早 川 敏 雄
相談役 工 藤 次 郎
会長 高 橋 幸 治
副会長 佐 藤 孝 一
専務理事 正 木 和 美
理事 阿 部 忠 悦
監 事 横 山 廣 壽

佐 藤 誠 佐 藤 吉 則
村 上 成 夫 熊 谷 俊 一
加賀 谷 聡 伊 藤 上 彦
佐 藤 繁 菊 地 久 美
工 藤 博 臣



謹 賀 新 年

令和3年元旦

仙 北 建 築 士 会

事務局 〒014-0062 大仙市大曲上栄町13-60 (株)長岐建築設計事務所内
T E L 0187-62-4320 F A X 0187-62-0213

会 副 常 専 理	長 任 理 事	小 佐 藤 賢	島 藤 英	誠 一 徹 人	高 橋 秀 喜	湊 泰 正	喜 正	栗 津 憲 靖	小 林 康 彦	戸 嶋 真 紀 子	嶋 木 一 博	齋 藤 喜 義
監 青 年 女 性 委 員 会	事 務 委 員 会	小 田 島 工 務 店	一 級 建 築 士 事 務 所	代 表 取 締 役 小 田 島 誠	代 表 取 締 役 播 間 泰	常 務 取 締 役 茂 木 茂 樹						

謹 賀 新 年

令和3年元旦



株式会社 小田島工務店



一級建築士事務所

代表取締役 小田島 誠

〒019-1234

秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島46番地5

TEL 0187-82-1314

FAX 0187-82-1660

URL <http://www.odasima.co.jp>

謹 賀 新 年

令和3年元旦

ISO9001 認証企業

— すべては『ありがとう』のために —



代表取締役 播間 泰

常務取締役 茂木 茂樹

【本社】秋田県仙北郡美郷町土崎字中野際89-1

TEL.0187-85-2255

大仙支店 秋田支店 仙台支店

URL <http://harima-kensetsu.jp>

謹 賀 新 年

令和3年元旦

よりよい形をつくり、
街をつくり、社会をつくる



代表取締役 齋 藤 靖

本社

〒014-0072

秋田県大仙市大曲西根字西道地野502番地2

TEL(0187)68-2288 (代)

FAX(0187)68-4488

謹 賀 新 年

令和3年元旦

「自然と匠の調和」を目指しお客様第一主義で
自然環境に適した住宅造りをご提案いたします

一般建築・社寺・設計施工・土木工事一式

有限会社 佐々木工務店

代表取締役 佐々木長利

(有)佐々木工務店一級建築設計事務所

〒014-0062 大仙市大曲上栄町13-39

TEL 0187-73-5610

謹 賀 新 年

令和3年元旦

信頼と技術で快適な空間を創造する

総合建築業 建築設計・施工

ISO9001：2015取得



株式会社 さとう

代表取締役 佐 藤 賢 一

取締役会長 佐 藤 富 彦

〒014-1412 秋田県大仙市藤木字東八圭68-5

TEL(0187)65-3232 (代) FAX(0187)65-3350

URL <http://kksatou.jp/>

謹 賀 新 年

令和3年元旦

より良い品質の提供と環境への影響を
配慮し、次世代への継承を目指す

総合建設業/設計・施工・監理



高吉建設株式会社

代表取締役 佐 藤 利 昭

本 社

〒014-0014 秋田県大仙市大曲福住町6番6号

TEL (0187)62-4321(代) FAX (0187)63-0607

URL : <http://www.takagishi.co.jp>

謹賀新年

令和3年元旦

太陽と水と緑

未来へ向かって、安定した環境基盤を創造します。



株式会社 瀧神巧業

代表取締役 佐藤 慎

〒014-0368 秋田県仙北市角館町中菅沢7番地7
TEL: 0187 (54) 2311・0187 (54) 2711 FAX: 0187 (54) 2710
http://www.takigami.jp E-mail: info@takigami.jp

営業品目: 建築工事一式・土木工事一式・機械設備工事一式
水門、鉄管・斜樋取水設備・除塵機設備・鋼構造物一般

謹賀新年

令和3年元旦



建設資材の総合商社

山二建設資材株式会社

代表取締役社長 田口 清光
所 長 大塚 勝也

本社 秋田市御所野湯本三丁目1番5号
TEL 018 (826) 0300
大曲営業所 大仙市下深井字板口端39
TEL 0187 (62) 2631
FAX 0187 (63) 5944

謹賀新年

令和3年元旦

MCA

MORE CREATIVE ASSOCIATION

株式会社 エムシーエー建築設計

代表取締役社長 小林 康彦

〒014-0068 秋田県大仙市大曲飯田町 1-8
TEL 0187-62-5480 / FAX 0187-66-1955

謹賀新年

令和3年元旦

有限会社 館設計

代表取締役 松塚 榮

〒014-0055
秋田県大仙市大曲あけぼの町14-25
TEL 0187-63-4933 FAX 0187-62-4717

謹賀新年

令和3年元旦

設計・監理 一級建築士事務所



有限会社
都市設計

代表取締役 泉谷 昭一

〒014-0064
秋田県大仙市小鷹高畑字中荒所60番47
TEL: 0187-63-6355 FAX: 0187-63-6395

謹賀新年

令和3年元旦



齋長岐建築設計事務所

代表取締役 草薙 渉
会長取締役 菅原文雄
専務取締役 齋藤 喜義

〒014-0062
大仙市大曲上栄町13番60号
TEL 0187-62-4320 FAX 0187-62-0213



謹 賀 新 年

令和3年元旦

横 手 建 築 士 会

住 所 〒019-1108 横手市山内土測字茂竹8-5 照井郁人建築設計事務所内
T E L 0182-53-2650 F A X 0182-53-3450

相 談 役 長 事 会 副 理	大 照 早 鈴 佐 々 木 嶋 藤 橋 木 木	嶋 井 山 石 木 嶋 藤 橋 木 木	輝 郁 政 博 誠 清 智	男 人 美 実 一 美 裕 敏 子 孝	金 沢 純 治	菊 川 田 佐 佐 高	池 本 原 藤 藤 橋	泰 一 友 光 松	美 義 明 明 方 義 美	黒 村 堀 小 岩 高	田 田 川 寺 村 荒	新 運 忠 宏	稔 久 一 悦 行 一	鈴 千 大 高 鈴	木 葉 類 橋 木	康 和 良 政	悦 廣 誠 章 道	高 根 高 石 佐	橋 田 橋 橋 藤	信 克 留 清	夫 利 男 忠 張
監 事			ル リ 忠																		

謹 賀 新 年

令和3年元旦

有限会社
久米一級建築設計事務所

代表取締役 久 米 征 子

〒013-0035
秋田県横手市平和町6番3号
T E L (0182) 32-1347
F A X (0182) 32-1319
E-mail kume2@sea.plala.or.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦

株式会社 近 建築設計事務所

一級建築士事務所

代表取締役 佐 藤 時 彦
〒019-0503
秋田県横手市十文字町西原一番町8番地
T E L (0182) 42-1388(代)
E-mail:konsekkel@h3.dlon.ne.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦



伊藤建設工業株式会社

品質 | S O 9001 認証企業
環境 | S O 14001

本 社 秋田県横手市大町5番19号
T E L 0182(32)3960(代)
秋田営業所 秋田市山王六丁目1番13号
山王プレスビル3階
T E L 018 (863) 5530

謹 賀 新 年

令和3年元旦



YOKOTE 横手建設(株)

秋田県横手市前郷二番町7-13
Phone 0182(32)1697(代)

謹 賀 新 年

令和3年元旦

21世紀の「街・環境・明日・未来」を創造する
品質 | S O 9001 認証企業
環境 | S O 14001



創 和 SOWA CORPORATION
建設株式会社

本 社 : 〒013-0036 秋田県横手市駅前町13番8号
T E L 0182(32)2680
F A X 0182(32)7500

謹 賀 新 年

令和3年元旦



一級建築士事務所

有限会社 ミツイ 設 計

代表取締役 金 沢 純 治

〒013-0035 秋田県横手市平和町11-5
T E L 0182-33-1011
F A X 0182-38-8848
E-mail y-mitui@wonder.ocn.ne.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦

有限会社
大嶋建築設計事務所

代表取締役 大嶋輝男

横手市朝日が丘三丁目6-2
TEL 0182-33-1452
FAX 0182-33-2729
E-mail Oshima@ruby.ocn.ne.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦

 株式会社 半田工務店
HANDA

本社：〒013-0043
横手市安田字堰端9番地1
TEL0182-33-0300 / FAX0182-33-0303
秋田営業所：〒010-0963
秋田市八橋大沼町1番3号
TEL018-863-8635 / FAX018-863-8497

謹 賀 新 年

令和3年元旦



信頼・創造
株式会社 大和組

秋田県横手市平和町10番30号
電話 0182-32-3434
FAX 0182-32-3499

謹 賀 新 年

令和3年元旦

湯 沢 雄 勝 建 築 士 会

〒012-0037 湯沢市字沖鶴194-12 シグマ企画加納設計内
TEL 0183-73-6797 FAX 0183-73-6837

相談役	佐藤清次	山脇一樹	今康博	佐藤重志	由利茂広
会長	佐藤隆成	高橋秀夫	佐藤全子		
副会長	山脇吉隆	川村榮一	清水道子(女性部長)	由利靖	
理事	鈴木伸一	(青年部長) 佐々木修一	加藤康	加納静佳	阿部俊介
監事	伊藤藤				

謹んで新春のお慶びを申し上げます

令和3年元旦



一般財団法人

秋田県建築住宅センター

理事長 高橋 行文 常務理事兼事務局長 植田 一 事務局次長兼課長 伊藤加久子

〒010-0001 秋田市中通二丁目3番8号(アトリオンビル5階)
TEL: 018(836)7851 FAX: 018(836)7852
ホームページ: <http://www.akjc.or.jp>
E-mail: info@akjc.or.jp

謹 賀 新 年

令和3年元旦

秋 田 地 区 電 気 技 術 協 議 会

〒011-0911 秋田市飯島字砂田26-9 奥羽電気設備(株)秋田営業所内
TEL: 018-845-9735 FAX: 018-846-8255 E-mail: ohwu-akita@wine.ocn.ne.jp

会 長	工 藤 一 則	奥羽電気設備(株)秋田営業所
副 会 長	伊 藤 俊 也	伊 藤 電 気 (株)
会 計 幹 事	大 友 正 敏	羽 後 電 設 工 業 (株)
技術担当幹事	仲野谷 崇	(有) 伸 和 電 工
企画担当幹事	池 田 勝 彦	(有) 池 田 電 機 工 事
総務担当幹事	小 林 茂 誠	小 林 電 設 (株)
監 事	藤 田 忠 彦	松 澤 電 気 工 事 (株)
監 事	時 田 祐 司	時 田 電 機 工 業 (株)

〔正 会 員〕

秋田電機建設(株)
姉帯電気工業(株)
(株)石郷岡電気工業
(株)大塚電機工業
(株)加島電気工事
(株)柏谷電工
工藤電気工事(株)
サン電気工業(株)

千代田電気工業(株)
仁賀保電機工業(株)
(株)布谷電機
(株)ヌノタニ
本荘電気工業(株)
三菱マテリアル電子化成(株)
日本海建設電気事業所
(株)ライトン

1級建築士試験

秋田県/全国
合格者
占有率

No.1

●令和2年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者3,796名中/当学院当年度受講生2,041名 全国合格者占有率53.8%

総合資格学院は

秋田県も全国も 合格実績No.1!

令和2年度 1級建築士 設計製図試験

秋田県 ストレート合格者占有率 (学科+設計製図)

80.0%

秋田県ストレート合格者5名中/当学院当年度受講生4名
(令和2年12月25日現在)

秋田県 合格者占有率

70.0%

秋田県合格者10名中/当学院当年度受講生7名
(令和2年12月25日現在)

令和2年度 1級建築士 学科試験

学習方法の選択で合格に大きな影響が!

総合資格学院

基準達成
当年度受講生
合格率

51.0%

8割出席・8割宿題提出・当学院 当年度受講生
3,973名中/合格者 2,028名 (令和2年9月8日現在)

全国合格率
20.7%に対して

3

その差
倍

独学者、
他スクール
利用者合格率
17.2%
(当学院調べ)

令和2年度 2級建築士 学科試験

当学院基準達成
当年度受講生合格率

93.1%

8割出席・8割宿題提出・総合模範試験正答率6割達成
当年度受講生895名中/合格者833名 (令和2年8月25日現在)

その差
54.3%
当学院基準達成者
以外の合格率38.8%

当学院当年度受講生合格者数
1,974名

令和2年度 2級建築士 設計製図試験

当学院基準達成
当年度受講生合格率

82.6%

8割出席・8割宿題提出・模範2ランク1達成
当年度受講生841名中/合格者695名 (令和2年12月10日現在)

その差
31.9%
当学院基準達成者
以外の合格率50.7%

当学院当年度受講生合格者数
1,974名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に沿って掲載しております。 ※当学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国/都道府県合格者数・都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・設計製図ストレート合格者とは、令和2年度の1級建築士学科試験に合格し、令和2年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。

令和元年度 設備設計1級建築士講習 修了考査

当学院当年度受講生修了率

当学院当年度受講生46名中/修了者39名
(令和元年12月18日現在)

84.8%

全国修了率
67.6%に対して

令和2年度 1級建築施工管理技術検定 学科試験

当学院基準達成
当年度受講生合格率

7割出席・7割宿題提出・模擬試験(2)正答率6割達成
当年度受講生304名中/合格者277名
(令和2年11月20日現在)

91.1%

全国合格率
51.1%に対して

令和2年度 建築設備士 第二次試験(設計製図)

当学院当年度
受講生合格率

66.4%

当年度受講生
134名中/
合格者89名
(令和2年11月5日現在)

全国合格率
41.4%
に対して

その差
約30%
独学者、他スクール
利用者合格率
37.1%
独学者、
他スクール
利用受講生
782名中/合格者290名

おかげさまで

総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。
これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に
貢献して参ります。

総合資格学院学院長 岸 隆司



秋田県建築士会会員様 受講料割引あり! 詳細は秋田校まで

1級・2級 建築士

構造設計1級建築士
設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級
建築施工管理技士

1級・2級
土木施工管理技士

1級・2級
管工事施工管理技士

1級
造園施工管理技士

宅地建物取引士

インテリア
コーディネーター

賃貸不動産
経営管理士



総合資格学院

全国約
100拠点



秋田市中通1-4-32 秋田センタービル 1F
TEL 018-874-9081

スクールサイト www.shikaku.co.jp コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp 総合資格 検索 Twitter ⇒ @shikaku_sogo Facebook ⇒ 総合資格 fb で検索!

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

新入会員紹介

新入会員からのメッセージ



大館北秋田建築士会
福田 聡

この度、入会しました、福田聡と申します。
現在、現場管理の仕事に携わっております。
幅広い範囲の知識、経験を増やす為、建築士会の活動を通じて多くのことを学
んでいきたいと思っております。
これからよろしくお願いします。

事務局だより

◆令和2年度（公社）日本建築士会連合会東北ブロック会会長会議◆

日時：令和2年12月1日（火）

場所：秋田キャッスルホテル

令和2年7月東北ブロック会総会において、当会会長の淡路孝次が東北ブロック会会長に選任されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり会議開催を見合わせておりましたが、この日の開催となりました。

（公社）日本建築士会連合会の近角眞一会長様、成藤専務理事様を来賓としてお迎えし、北海道建築士会会長様並びに東北各県の会長様にご出席されました。

審議は、東北ブロック会事業についての他、1年延期となった第64回建築士会全国大会あきた大会の基本計画の報告が行われ、皆様よりあきた大会へ期待する旨の激励を頂戴いたしました。



近角会長のご挨拶



会議状況

◆建築士定期講習◆

令和2年度の（一社）秋田県建築士会が開催した建築士定期講習の概要（中間）を報告いたします。

CPD：6単位

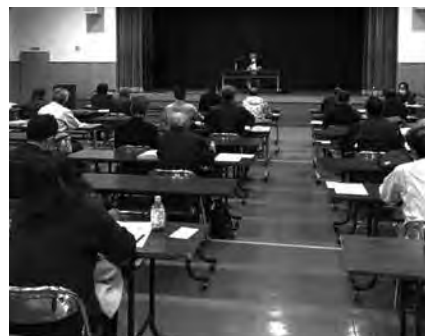
月 日	会 場	定 員	受講者
7月22日（水）	秋田市文化会館	80	74
10月13日（火）	北秋田市交流センター	60	56
11月12日（木）	大仙市大曲交流センター	80	72
3月4日（木）	秋田市文化会館	80	未開催



秋田市文化会館



北秋田市交流センター



大仙市大曲交流センター

◆建築士試験◆

令和2年度の建築士試験の実受験数と合格人数

(名)

項目		一級	二級	木造
・学科の試験				
実受験者	(a)	114	145	0
合格者	(b)	16	52	0
合格率	(b) ÷ (a)	14.0%	35.8%	0%
(全国合格率)		20.7%	41.4%	53.0%
・設計製図の試験				
実受験者	(c)	35	93	0
内、製図から	(d)	22	26	0
最終合格者	(e)	10	49	0
合格率	(e) ÷ (c)	28.5%	52.6%	- %
(全国合格率)		34.4%	53.1%	72.1%
最終合格率	(e) ÷ {(a) + (d)}	7.3%	28.6%	0%
(全国最終合格率)		10.6%	26.4%	37.8%

令和2年度の二級建築士合格者は、49名で、昨年の24名を大幅に上回りました。最終合格率も全国平均より高くなっております。また、木造建築士は合格者無し、一級建築士合格者は、10名（昨年9名）の方が合格されました。

今年は建築士法改正により、受験資格から実務を除いたことから受験者数が二級建築士は5%、一級建築士は15%増加しました。

◆建築甲子園◆

2020年 第11回 高校生の「建築甲子園」は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止となりました。

◆令和2年 県内市町村が行う木造住宅耐震診断支援事業◆

事業開始4年目となりました木造住宅耐震診断支援事業は、今年度は18市町村が実施することとなりました。当会では12市町村との契約のもと、該当市町村の依頼により本会の登録している建築士会会員を選定し、申請者住居の診断を行っております。

【本会と契約済みの市町村】

- 県 北：大館市、能代市、鹿角市、小坂町
- 県中央：秋田市、男鹿市、五城目町、八郎潟町
- 県 南：大仙市、横手市、美郷町、仙北市

【診断を行う要件】全てに該当する方

- ・（一社）秋田県建築士会の会員であること
- ・建築士事務所に所属し、その建築士事務所が耐震診断業務を受託可能であること
- ・県が認める講習会を受講し、秋田県木造住宅耐震診断技術者として登録していること（平成29年3月10日から登録開始）

※登録はこちらから、県 HP : <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034>

【診断方法】

- ・「2012 年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」一般診断法による診断プログラム Wee2012
((一財) 日本建築防災協会発行) による
- ・委託市町村が別に定める仕様書、及び当会耐震診断実施要領による。

当会では、木造住宅耐震診断の実施要領の策定及び報告書の様式など、本事業以外にも活用できるよう整備を行っております。

○今年度の受諾状況

12月25日現在、12市町村より27棟の診断を受託しております。

・小坂町	1 戸	・鹿角市	2 戸	・大館市	3 戸
・男鹿市	2 戸	・五城目町	1 戸	・八郎潟町	1 戸
・秋田市	5 戸	・大仙市	2 戸	・横手市	5 戸
・美郷町	3 戸	・仙北市	2 戸		

○診断登録者数 計52名

・鹿角	3 名	・大館北秋田	7 名	・能代山本	6 名
・秋田中央	8 名	・由利	3 名		
・仙北	13 名	・横手	11 名	・湯沢雄勝	1 名

◆秋田中央地区ヘリテージマネージャー養成講座のご案内◆

— 事前登録のお願い —

近年、地域の祭りや伝統行事といった無形文化財に加え、歴史的建造物の保存と活用によるまちづくりに対する関心が高まっています。

このため、令和3年度、秋田市においてヘリテージマネージャー（歴史的建造物の保存と活用の専門家）の養成講座を開催することを目指して、秋田中央および由利建築士会の会員が中心になって実行委員会を立ち上げ、プログラムづくりなどの準備を進めています。

この講座は、講義と演習で構成される計60時間以上の講座を開催し、原則として全ての講座を受講した方をヘリテージマネージャーとして登録するものです。秋田県内では平成26年度に横手市、平成30年度に大館市で開催され、計66名が歴史的文化遺産の調査、登録・保全・活用に関する提言、災害対策業務、啓発活動等に従事できる資格者として登録・公表されています。

正式な募集は補助金確定後の4月となる予定ですが、申し込み期間が限られるため事前に情報提供するものです。関心のある方は、是非、事前登録をお願いします。定員を超える受講申し込みがあった場合には事前登録のあった方を優先します。

(お問い合わせ)

〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 アトリオンビル5階

一般社団法人 秋田県建築士会

秋田中央地区 HM 養成講座実行委員会

事前登録・お問い合わせアドレス kk.creativelife@gmail.com FAX 018-868-5348

主 催	秋田中央地区ヘリテージマネージャー養成講座実行委員会		
期 間	令和3年5月15日（土）～令和3年12月4日（土） 全12回		
会 場	秋田市中心市民サービスセンター（秋田市山王一丁目1番1号）他 ※ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部リモート講義となる可能性もあることをご承知おきください。		
受 講 料	秋田県建築士会会員（個人会員） 20,000 円 会員以外 30,000 円 ※ 現時点での予定であり、受講者数によっては変動することもあります。		
受講資格	①一級建築士、二級建築士、木造建築士 ②歴史的建造物の調査、修復、活用等に5年以上従事した実績のある者 ※ お住まいの地域は問いません。		
募集人員	30 名程度		
講習内容	5/15（土） 開校式、ヘリテージマネージャーの役割 5/29（土） 歴史的文化遺産保存・活用の意義 6/12（土） 歴史的建造物の技法と調査方法 6/26（土） 木造伝統構法 7/ 3（土） 文化行政・景観行政・関係法令について 7/17（土） 歴史的建造物の調査報告書のまとめ方 8/ 7（土） ワーキングによる調査実践 8/28（土） 文化財視察研修 9/18（土） 演習報告 10/2（土） 歴史的建造物を活用したまちづくり事例1 11/13（土） 歴史的建造物を活用したまちづくり事例2 12/4（土） 受講者が見つけた文化財最終報告、閉校式 ※ 工学院大学理事長 後藤治氏、弘前大学教授 北原啓司氏、文化庁文化財調査官をはじめ、一流講師に指導をお願いする予定です。		
事前登録申込書	下記申込書に必要事項を記載し、Fax（018-868-5348）でお申し込みください。		
	氏 名		生年月日 S・H
	住 所	〒	
	携 帯		E- Mail
	資 格	上記① ・ 上記②	勤務先

※ ヘリテージマネージャー登録制度について

本養成講習会で全ての講座を修了した方は、希望により（一社）秋田県建築士会の「ヘリテージマネージャー登録台帳」に登録し、同会のホームページに掲載します。

注1 必修講座

第1回（5/15）および第12回（12/4）の講座は必修とします。

第6回（7/17）、第9回（9/18）は極力出席してください。（やむを得ない場合は代替講習）

注2 みなし受講

都合によりどうしても受講できない場合は、事前に連絡が必要。

やむを得ない理由によると認められる場合は、必修講座を除き3回まで認めます。

この場合 DVD で自主学習しレポートを提出するものとします。

忘れてませんか！ 建築士定期講習のお知らせ

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。

建築士事務所に所属する方で、平成29年度に建築士定期講習を修了した方及び平成29年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、令和2年度中に当該建築士定期講習を受講しなければなりません。

今回は令和2年度の最後の講習になりますので是非受講をお勧めします。

第4回定期講習（1E-04）

と き：令和3年3月4日(木)

ところ：秋田市文化会館 5階大会議室

募集期間：令和3年2月19日 締切

登録講習機関 公益財団法人 建築技術教育普及センター

受付機関 （一社）秋田県建築士会 事務局

受講申込書を希望する方は、事務局までお問い合わせ下さい。

電話 018-827-3718 FAX 018-827-3873

編集後記

横手建築士会 鈴木博実

年明けに、こんな一年になるとは想像できませんでした。オリンピック開催の2020年、ワクワクとした高揚感で新年を迎えました。そして、お正月のお祝い気分のなか1月20日横浜港を出港した「ダイヤモンド・プリンセス」。その2週間後に、乗客から新型コロナの陽性者が10名確認されたのです。ニュースを聞いて、不安は感じたものの、これほどまでとは思いませんでした。

1月31日、2月1日に、全国まちづくり委員長会議も東京で予定通り開催され、普段通りに無事に終了しています。その後、感染が広がり、オリンピックの延期、建築士会の広島全国大会も延期され、秋田大会も2022年に開催されることとなりました。新型コロナのその影響ははかり知れない状況となり、冬を迎え、一日の新規感染者が2000名を超え、医療危機といえる状態の市町村も出てきています。

振り返ると、2020年は新たな事の始まりの年だったと強く感じています。新型コロナによって世界が、個人が新たな常識「ニュー・ノーマル」対応していく必要が出てきました。

その一つにWEB会議があります。人の移動を求めず、密をつくらず、もうごく当たり前の方法で会議が行われています。自分自身、1対1でスカイプを利用していた打ち合わせは行ったことはあるものの、多数が集まった会議は経験がありませんでした。初めてだからできないとは言えず、手探りでネットから情報を得て、対応していかなければならない状況でした。今はヘリテージマネージャーの運営会議を10月から月一度のペースでWEB会議を行っています。仮にコロナが収束してもWEB会議の役割は大きく、移動の時間を節約し、それまで1度しかできない会議を2度、3度と開催できるようになっていくかもしれません。

秋田県建築士会では11月26日に「Web会議」活用のための基礎講習会が連合会と秋田県建築士会の共催で全国の建築士会に先駆けて開催されました。これは現在、広く利用されているWeb会議システム（Zoom）の基礎を習得する講習会で、自分自身、手探りだった部分の確認と新たな知識を得ることのできた大変有意義な講習会でした。WEB会議は経験していたものの戸惑うし、どのような対処の仕方が正しいのか、ルールがあることを知ることができました。

WEB会議に大変参考になると思われる本を2冊紹介します。1冊目は講習会で講師をしていただいた連合会情報部会の大石佳知さんが用意してくれた資料「オンライン

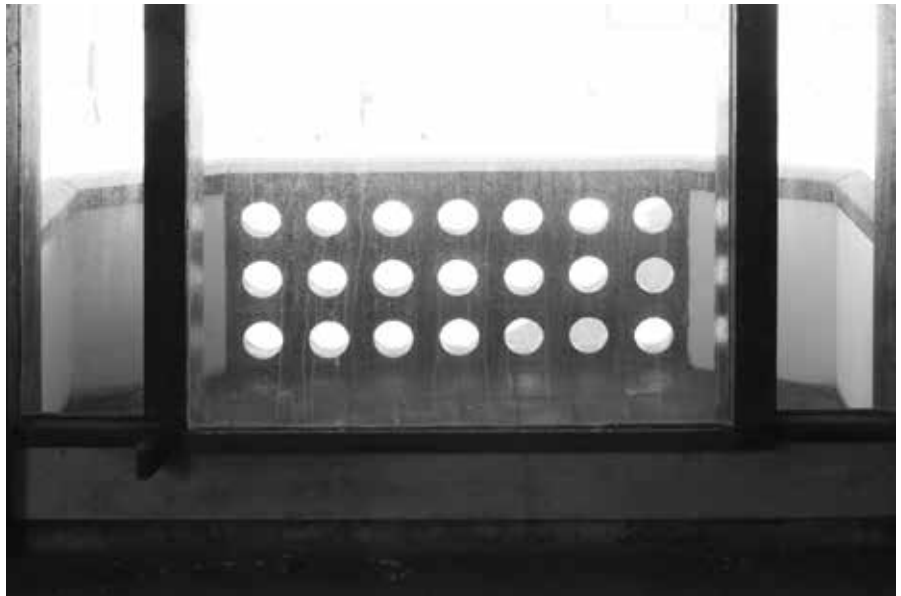
ン会議、セミナー実施のポイント」のその出典元、矢野香 著「オンラインでの『伝え方』ここが違います」です。

もう1冊は伊藤羊一 著「一分で話せ」です。大事なことをシンプルに伝える大切さが書かれています。興味のある方はぜひ。



(裏表紙から続く)

また、エントランスホール・特徴のある階段室は大きな吹抜けの空間に設置され、曲線で構成された手すりは、訪れた人々を2階の大ホールへと導いてくれているようです。2階会議室に上がると、コンクリート打放しの柱・梁の構造体が現しで見え、とても力強さを感じる空間です。一方、壁・天井はラワン材の縦羽目板張りで木地の色を見せながら、かつ東西の短辺方向の壁



はゆるやかに湾曲させるなど細部への配慮がなされ白井らしい表現になっています。コンクリートの持つダイナミックさと木地の持つ柔らかさとの調和が豊かな大空間をつくりだしています。

戦後（昭和23年）白井氏は秋田で文化講演を依頼され、それを機に秋田での建築の仕事が始まり、公共建築を中心とする作品を次々と誕生させています。その作品の多くは県南に集中して、昭和34年に竣工したこの四同舎もその一つです。当時、RCの建物がめずらしかった湯沢市民の多くは、驚きと共に新しい時代の風を感じたのではないかと想像出来ます。これまで、集会・発表会・催事など多くの行事に活用され親しまれ、一つの時代の流れに沿って、その存在は会館としての役割を果たし、市民に多くの思い出をつくってくれました。

この会館に於ける白井の作りだす空間の光のあつかいは西洋的なものを感じ、一方で近代の材料を用いながら、材料の使い方・納まり等からは日本的な感性を感じ、全体的に親しみのある落ち着いた安心感のある空間を感じさせられます。

『近代建築』1954.10 エッセイ「おもいで」の中で、白井氏は「自身を郷土の建築家のように親しみもてなしてくれた。……又、故郷のようななつかしさを感じるのはきっとこの国（秋田湯沢雄勝）の人々の細かい人情によるものだ（抜粋）」と、記しています。白井氏がそのように感じたほど、当時の湯沢の人々は、氏の考え方を受け入れ、尊重し、この建物を受け継ぎ、活かしてきました。今日でもサークル活動を始め、近隣の住民の町内会の総会や集会、そしてイベント会場として活用しています。

白井晟一は、この建物を「四同舎」と命名しましたが、地元市民は日常的に酒造会館と呼び愛着を持って接しています。

秋田県内の近代建築といえば、白井晟一の功績が大きいものがある中で、今回は県南雄勝地域に数多い作品の中でも四同舎を取り上げました。

- ・湯沢市前森一丁目 1-26
- ・鉄筋コンクリート造2階建て
- ・置屋根鉄板瓦棒葺
- ・延べ床面積 496.61㎡
- ・H31年3月 国登録有形文化財登録済



湯沢市 四同舎（旧湯沢酒造会館）

あきた建築士会ニュースNo.155（2021年1月号）

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階（一財）秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和3年1月25日 印刷／秋田協同印刷株式会社